

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞

平成28年上半期（1～6月）速報

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量が
過去最高値を更新！（対前年同期比4.5%増）

- 国際コンテナ取扱貨物量は34.0万 TEU で、対前年同期比4.5%増加
(P1参照)
- 外貿コンテナ取扱貨物量は25.3万 TEU で、対前年同期比0.7%増加
(P2参照)
- 主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は8.7万 TEU で、
対前年同期比17.2%増 (P3, 4参照)

注1: 全国の港湾管理者の調査結果をもとに集計

注2: 国際フィーダーコンテナとは、国際コンテナの内、神戸港や大阪港等を経由するコンテナをいう

注3: 外貿コンテナとは、中国地方の港湾を起終点とし、直接外国へ輸出入するコンテナをいう

注4: 国際コンテナ＝外貿コンテナ＋国際フィーダーコンテナ

注5: TEU＝Twenty-foot Equivalent Units 20 フィートコンテナに換算したコンテナの個数を表す

＜問い合わせ先＞

中国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室（国際コンテナ戦略港湾政策推進室）

TEL：082-511-3928（直通）：（平日・昼間）

室長 ^{すが}菅 ^{たかのり}高徳 課長補佐 ^{よしだ}吉田 ^{ほうせい}豊成

＜広報担当窓口＞

中国地方整備局 TEL：082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

広報広聴対策官 ^{さかや}坂屋 ^{まさゆき}政之（内線2117）

企画部 環境調整官 ^{まつもと}松本 ^{はるお}治男（内線3114）

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量

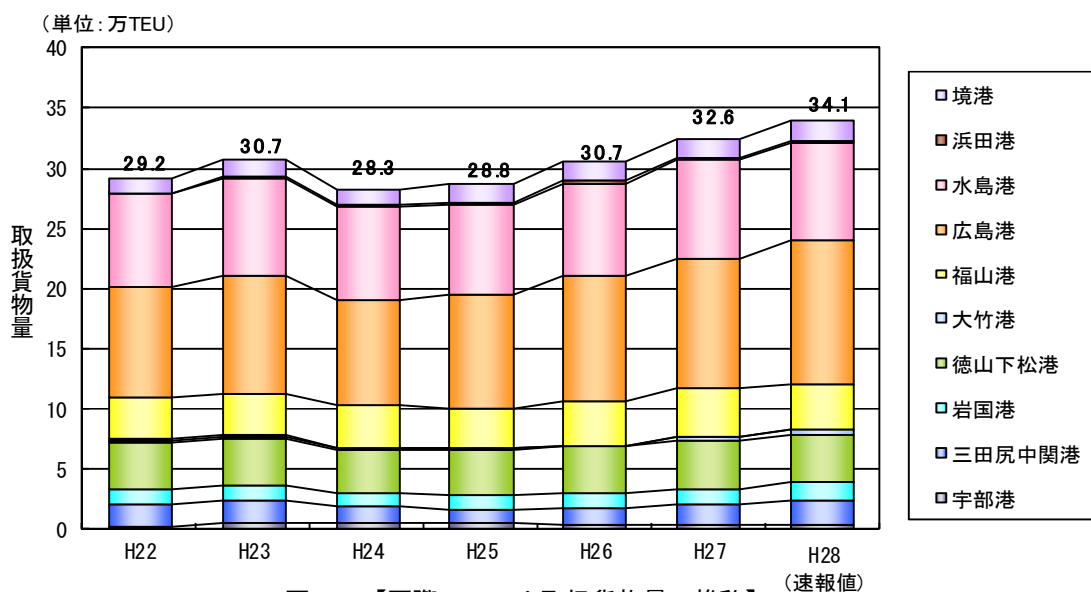
～ 平成28年上半期速報 ～

■ 国際コンテナ取扱貨物量

- 中国地方の港湾（下関港を除く、以下同じ。）における平成28年上半期の国際コンテナ取扱貨物量の速報値は34.0万TEU^{*1}であり、対前年同期比で4.5%増加しています。

（図－1、表－1参照）

※『国際コンテナ取扱貨物量』とは「外貿コンテナ取扱貨物量^{*2}」と「国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{*3}」を足し合わせた取扱貨物量であり、中国地方の港湾を介して輸出入された正味のコンテナ取扱貨物量です。



図－1 【国際コンテナ取扱貨物量の推移】（速報値）

表－1 【港別の国際コンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

（単位：TEU）

港 湾 名	平成27年上半期			平成28年上半期 （速報値）			平成27年 からの増減 （TEU）	平成27年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境 港	16,405	8,732	7,673	17,376	9,236	8,140	971	5.9%	5.8%	6.1%
浜 田 港	2,142	1,046	1,096	1,742	797	945	▼400	▼18.7%	▼23.8%	▼13.8%
水 島 港	81,197	41,628	39,569	80,404	40,522	39,882	▼793	▼1.0%	▼2.7%	0.8%
広 島 港	108,735	54,332	54,403	120,643	60,111	60,532	11,908	11.0%	10.6%	11.3%
福 山 港	40,698	20,075	20,623	37,280	18,487	18,793	▼3,418	▼8.4%	▼7.9%	▼8.9%
大 竹 港	2,649	1,716	933	3,946	2,564	1,382	1,297	49.0%	49.4%	48.1%
徳 山 下 松 港	40,984	27,168	13,816	39,975	26,587	13,388	▼1,009	▼2.5%	▼2.1%	▼3.1%
岩 国 港	12,532	9,139	3,393	14,227	9,546	4,681	1,695	13.5%	4.5%	38.0%
三田尻中関港	16,138	10,714	5,424	21,142	13,809	7,333	5,004	31.0%	28.9%	35.2%
宇 部 港	4,224	2,598	1,626	3,554	2,377	1,177	▼670	▼15.9%	▼8.5%	▼27.6%
合 計	325,704	177,148	148,556	340,289	184,036	156,253	14,585	4.5%	3.9%	5.2%

注1）呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

■ 外貿コンテナ取扱貨物量※2

- 中国地方の港湾における平成28年上半期の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は25.3万TEUであり、対前年同期比で0.7%増加しています。〔輸出：1.3%増加、輸入：0.1%増加〕

(図-2、表-2参照)

- 外貿定期コンテナ就航航路数は、平成28年6月末時点で韓国、中国、台湾、香港、東南アジア、ロシア、北米方面へ週79.75便が就航しています。これは、平成27年6月末(週79.75便)と同じです。

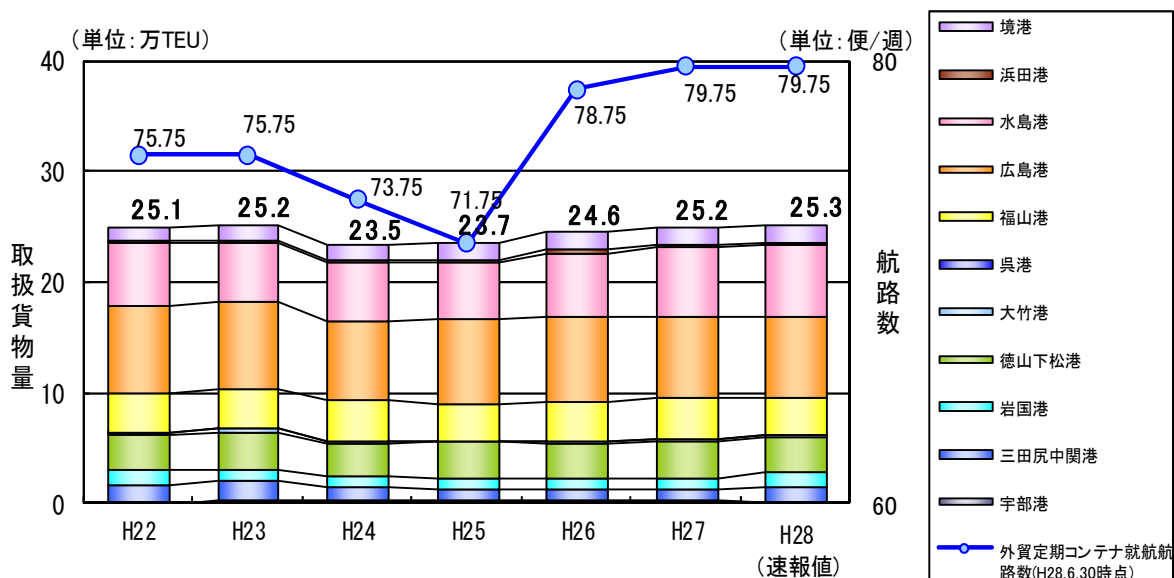


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量と週あたり就航航路数の推移】

表-2 【港別の外貿コンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

(単位:TEU)

港 湾 名	平成27年上半期			平成28年上半期 (速報値)			平成27年 からの増減 (TEU)	平成27年からの伸び率		
	合計	輸出	輸入	合計	輸出	輸入		合計	輸出	輸入
境 港	16,405	8,732	7,673	17,376	9,236	8,140	971	5.9%	5.8%	6.1%
浜 田 港	2,142	1,046	1,096	1,742	797	945	▼400	▼18.7%	▼23.8%	▼13.8%
水 島 港	64,310	32,818	31,492	64,023	32,569	31,454	▼287	▼0.4%	▼0.8%	▼0.1%
広 島 港	72,293	36,417	35,876	72,712	37,024	35,688	420	0.6%	1.7%	▼0.5%
福 山 港	37,317	17,182	20,135	34,225	16,247	17,978	▼3,092	▼8.3%	▼5.4%	▼10.7%
大 竹 港	1,496	583	913	2,196	978	1,218	700	46.8%	67.8%	33.4%
徳 山 下 松 港	33,259	22,203	11,056	32,431	21,414	11,017	▼828	▼2.5%	▼3.6%	▼0.4%
岩 国 港	11,606	8,299	3,307	13,174	8,596	4,578	1,568	13.5%	3.6%	38.4%
三田尻中間港	9,499	5,252	4,247	13,362	7,997	5,365	3,863	40.7%	52.3%	26.3%
宇 部 港	3,238	1,612	1,626	2,175	1,078	1,097	▼1,063	▼32.8%	▼33.1%	▼32.5%
合 計	251,565	134,144	117,421	253,416	135,936	117,480	1,852	0.7%	1.3%	0.1%

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※3}

- ・中国地方の港湾における平成28年上半期の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は8.7万TEUであり、対前年同期比で17.2%増加しています。(図-3、表-3参照)

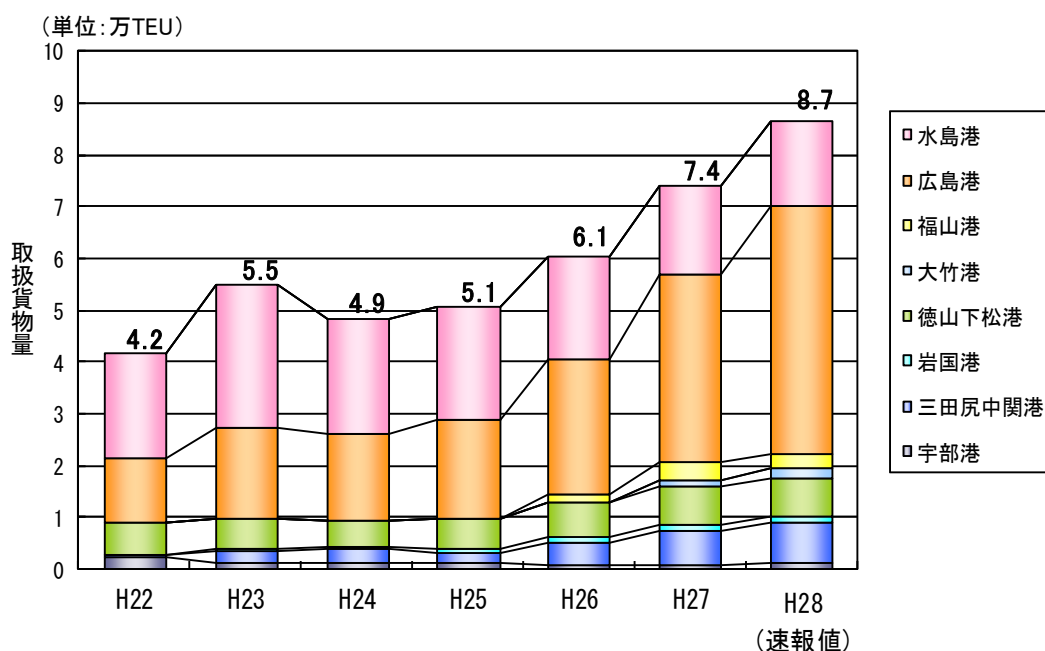


図-3 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【港別の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港 湾 名	平成27年上半期			平成28年上半期 (速報値)			平成27年 からの増減 (TEU)	平成27年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
水 島 港	16,887	8,810	8,077	16,381	7,953	8,428	▼506	▼3.0%	▼9.7%	4.3%
広 島 港	36,442	17,915	18,527	47,931	23,087	24,844	11,489	31.5%	28.9%	34.1%
福 山 港	3,381	2,893	488	3,055	2,240	815	▼326	▼9.6%	▼22.6%	67.0%
大 竹 港	1,153	1,133	20	1,750	1,586	164	597	51.8%	40.0%	720.0%
徳 山 下 松 港	7,725	4,965	2,760	7,544	5,173	2,371	▼181	▼2.3%	4.2%	▼14.1%
岩 国 港	926	840	86	1,053	950	103	127	13.7%	13.1%	19.8%
三 田 尻 中 関 港	6,639	5,462	1,177	7,780	5,812	1,968	1,141	17.2%	6.4%	67.2%
宇 部 港	986	986	0	1,379	1,299	80	393	39.9%	31.7%	皆増
合 計	74,139	43,004	31,135	86,873	48,100	38,773	12,734	17.2%	11.9%	24.5%

- 中国地方の港湾における平成28年上半期の国際コンテナ取扱貨物量に対する国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合は25.5%となっており、近年で最も高い割合となっています。

(図-4、表-4参照)

- 中国地方の港湾における平成28年上半期の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳を見ると、広島港、水島港の2港における取扱量のみで全体の74%を占めています。(図-5参照)

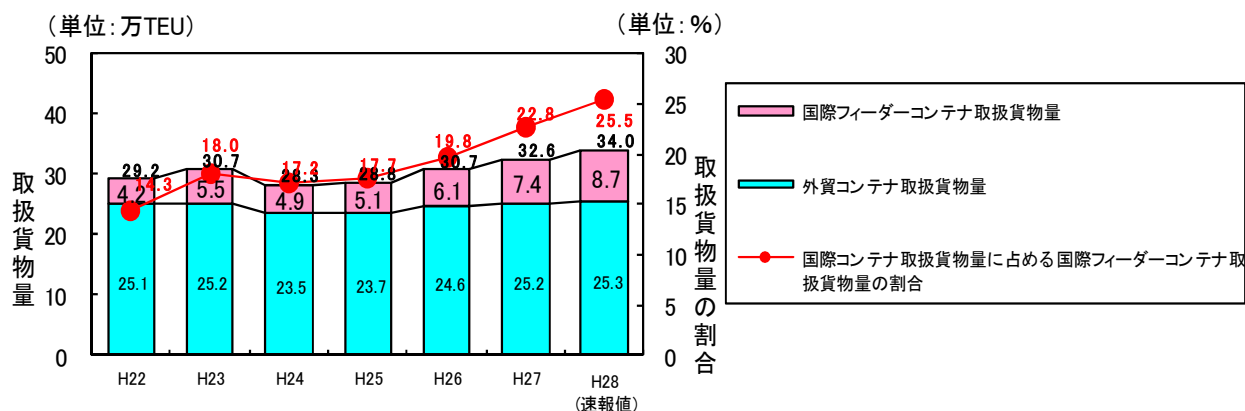


図-4 【国際コンテナ取扱貨物量に占める国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合】

表-4 【国際コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

種別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (速報値)
①国際フィーダーコンテナ取扱貨物量	4.2	5.5	4.9	5.1	6.1	7.4	8.7
②外貿コンテナ取扱貨物量	25.1	25.2	23.5	23.7	24.6	25.2	25.3
③国際コンテナ取扱貨物量 (①+②)	29.2	30.7	28.3	28.8	30.7	32.6	34.0
国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合 (%) (①/③*100)	14.3	18.0	17.2	17.7	19.8	22.8	25.5

※国際コンテナ取扱貨物量は外貿コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量との和

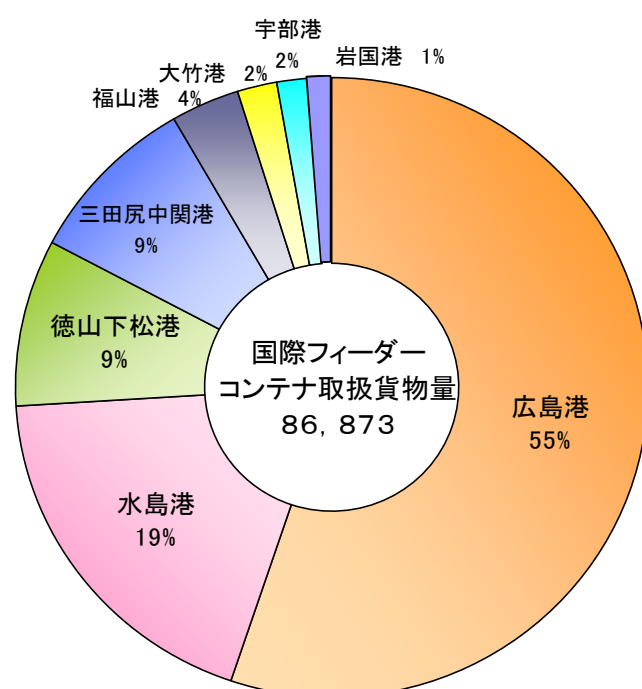


図-5 【平成28年上半期 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳】

■ 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因

平成28年上半期の国際コンテナ取扱貨物量を平成27年上半期と比較し、主な増減要因を以下のとおりまとめました。

△ 境港：971TEU 増（平成27年同期比 5.9%増）

フィリピン向けの「木製品」の輸出が増加しました。また、韓国からの「産業機械」の輸入が増加しました。

▼ 浜田港：400TEU 減（平成27年同期比 18.7%減）

韓国向けの「原木」の輸出が減少しました。また、中国からの「化学薬品」などの輸入は増加しました。

▼ 水島港：793TEU 減（平成27年比 1.0%減）

中国・韓国からの「自動車部品」の輸入が減少しました。

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、「自動車部品」の移出が減少しました。

△ 広島港：11,908 TEU 増（平成27年同期比 11.0%増）

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、東南アジア向けの「自動車部品」の移出が増加しました。

▼ 福山港：3,418TEU 減（平成27年同期比 8.4%減）

中国向けの「その他製造工業品」の輸出が減少しました。また、中国・韓国からの「その他製造工業品」の輸入が減少しました。

△ 大竹港：1,297TEU 増（平成27年同期比 49.0%増）

韓国からの「樹脂類」の輸入が減少したものの、韓国からの「紙・パルプ」の輸入が増加しました。

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、アメリカ向けの「樹脂類」の移出が増加しました。

▼ 徳山下松港：1,009TEU 減（平成27年同期比 2.5%減）

中国向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸出が減少しました。

△ 岩国港：1,696TEU 増（平成27年同期比 13.5%増）

インドネシアからの「木製品」の輸入が増加しました。

△ 三田尻中関港：5,004TEU 増（平成27年同期比 31.0%増）

オランダ向けの「自動車部品」の輸出が増加しました。

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、ベトナム向けの「自動車部品」の移出が増加しました。

▼ 宇部港：670TEU減（平成27年同期比15.9%減）

香港向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸出が減少しました。また、韓国からの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸入が減少しました。

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、香港向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の移出が増加しました。

国際コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成28年1月から平成28年7月まで）

【境港】境港～台湾の新コンテナサービスが開始されました

- ・平成28年4月より、境港が上海積み替えにより台湾主要港と結ばれ、輸入は16日から8日に短縮、輸出は18日から9日に短縮されました。

【浜田港】新たな助成制度の創設、新たな上屋の整備

- ・平成28年4月より、東南アジア（ASEAN加盟国）向けの貨物について、輸送費用の助成制度が創設されました。
- ・福井地区に新たな上屋が整備されました。（平成28年9月）

【水島港】韓国航路が減便

- ・平成28年5月より、韓国航路週1便が減便されました。
（韓国航路：週10便→週9便）

【広島港】韓国・中国航路が減便

- ・平成27年12月から就航していた韓国・中国との定期コンテナ航路が平成28年7月に廃止されました。（韓国・中国航路：週1便の運航→ゼロ）
- ・平成28年4月より「広島港・福山港コンテナ貨物利用促進補助制度」を輸出貨物だけではなく、同条件で輸入貨物に対して拡充・適用しました。

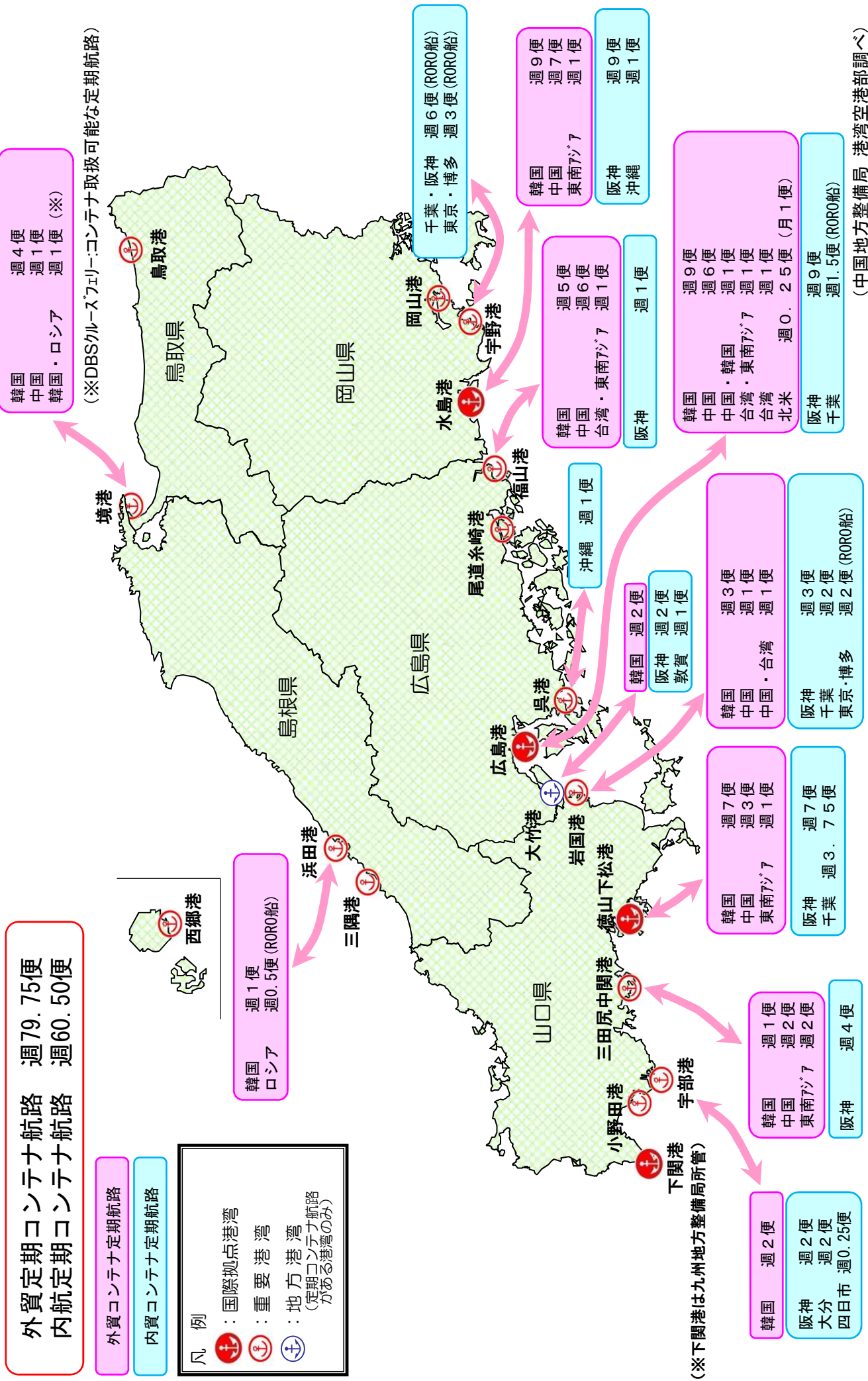
【福山港】新たな助成制度の創設

- ・平成28年4月より「広島港・福山港コンテナ貨物利用促進補助制度」を輸出貨物だけではなく、同条件で輸入貨物に対して拡充・適用しました。

【徳山下松港】外貿定期コンテナ航路が増便

- ・平成28年1月より外貿定期コンテナ航路（東南アジア航路）が1便増加しました。（週1便→週2便）

中国地方の港湾における定期コンテナ航路の就航状況（平成28年6月末現在）



参考

※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1個の内容積は約 33m³です。



写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本文中では中国地方の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。 (下図の「ダイレクト輸送」を参考)

※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。 (下図の「国際フィーダー輸送」を参考)

輸送イメージ図

